

安芸高田市ふるさと応援の会 関東支部発足！

安芸高田市の更なる発展と
その魅力の全国発信に向け
て、平成23年に発足した「安
芸高田市ふるさと応援の会
(以下応援の会)」。平成24年
に広島支部が設立され、今年
の8月2日(土)に関東支部
の設立総会がメルパルク東京
で開催されました。

総会では、「この応援の会
が都市と地方をつなぎ、交流
をするモデルケースとなる
ようにやっていきたいと思
います。安芸高田市のまちな
観は変わっても人は変わら
ないので、時々ふるさとに帰
ってみてください」と立川哲
男応援の会会長があいさつ
をされた後、関東支部規約
平成26年度活動計画などの議
案が議決され、関東支部の活
動がスタートしました。

その後の「故郷(ふるさと)
を思う」と題した元広島東洋
カープ選手の山本一義さん
による講演では、「現役時代、
当時のルーツ監督から『勝つ
ことによってファンを喜ば
せ、地域を勢いづけて、元氣
にすることができるとい
うことを教えてもらいました。



安芸高田市ふるさと応援の会 会長
立川 哲男 さん

ふるさとを離れている人は、
まずはふるさとを好きになっ
て、忘れないということが大
切です。そのことがふるさと
を明るくしていきます。応援
の会の皆さんには、お互いの
今までの経験を語り合ってい
ただいて、それを安芸高田市
のまちづくりへとつなげて欲
しいと思います」と語ってい
ただきました。

講演の後、児玉浩県議
議員、小谷野薫(株)サンフレッ
ツチェ広島代表取締役、湧永
寛仁湧永製菓(株)代表取締役
によるスピーチや、吉田町出
身で日本尺八連盟会長の坂田
誠山さんによる尺八演奏、吉
田町出身の歌手・真木洋介
さんによる歌の披露が行わ
れ、盛会裏に総会及び交流会
行事は終わりました。
ふるさととは遠くにあつて思



元広島東洋カープ選手
山本 一義 さん

うものではなく、「ふるさと
を近くに感じる」ためにさま
ざまな取り組みをしていくこ
ととした関東支部。会員の皆
さんは、安芸高田市をより魅
力あるまちにするための、心
強い存在です。生活する場所
は違っても、ふるさとを思う
気持ちは同じです。皆で安芸
高田市と一緒に盛り上げてい
きましょう！



(左) 真木 洋介さんと坂田 誠山さん(右) によるコラボレ
ーション演奏も披露されました。

関東支部はこんなことをや
ります！

①ひろしま安芸高田神楽東京
公演の応援
今年度、4回目を迎える「ひろ
しま安芸高田神楽東京公演」
を積極的にPRし、神楽公演
を盛り上げます。

②ふるさと産品の新たな絶品
づくりを支援
ふるさと産品のモニター制を
提案するなど、人脈、情報の
集中する関東の力を活用し、
特産品の商品力向上や新たな
絶品づくりを応援します。

③応援大使の起用
応援の会役員が中心となつて
「応援大使」となり、神楽や安
芸高田市のイメージアップを
応援します。

④会員拡大に向けた紹介
関東地区の会員同士のコミュ
ニケーションを通じて、会員
拡充を行います。また、会員
がふるさとに貢献できる内容
の把握に努めます。

ふるさと応援の会 広島支部の活動

広島支部では、会員同士の親睦と連携を深める活動
や、地元から地理的に近いことを生かし、安芸高田市
に実際に行って貢献活動を行うなどの取り組みを行っ
ていきます。今年度は、主に以下の活動をする予定で
す。

①郡山城跡清掃活動応援

市地域振興事業団が行う郡山城跡の清掃活動に、広
島支部の会員が参加します。

②安芸高田市日帰りバスツアー

甲立古墳、歴史民俗博物館、神楽門前湯治村、産直
市などを訪れ、会員同士交流を深めます。

③川根の柚子もぎ応援

人手が不足する柚子収穫期に、収穫作業の手伝いを
します。



ふるさと応援の会関東支部 役員紹介

会長	吉川 京二	理事	坂田 誠山
副会長	岩口 健二	理事	重坂 義人
副会長	中村 健郎	理事	新江 正治
副会長	藤川 明典	理事	瀧川 ハル子
顧問	石飛 幸三	理事	玉井 治之
顧問	佐々木 文荘	理事	内藤 昌信
顧問	古本 耕三	理事	内藤 亨
顧問	山縣 宣彦	理事	中崎 秀明
理事	青山 博之	理事	真木 洋介
理事	稲田 誠	事務局	稲島 麻由美
理事	栗岡 喬	事務局	北山 伸美

【インタビュー】吉川 関東支部会長に今後の意気込みなどを聞きました！

私は仕事の関係で全国を転勤し、現在は関東に住んでいますが、長年ふるさとへの強い想いをもち続けています。
そして、私が今まで培ってきた人脈や知識を駆使して、ふるさとに恩返しをしたいと思っています。私は今まで世界 40 か国を訪れましたが、改めて故郷の向原はよいところだと思いました。今は年に 2 回向原町に帰省をして、墓参りや家の管理を行っています。

関東支部では、ふるさと産品の絶品作りに取り組み、安芸高田市に来たなら、絶対にこれは買って帰りたい、と



応援の会 関東支部会長
吉川 京二 さん(68)

向原町出身。元プリヂストン東北支店長兼北海道支店長。現在 経営コンサルタント。(株)ケーズマーケティング代表取締役。

思えるようなものを作らなければならないと思っています。例えば、現在の神楽焼きに磨きをかけて絶品にするなどの目標を持ち取り組むことが大切です。また、耕作放棄地を活用した農業支援なども考えられると思います。私は神楽がとても好きなのですが、文化面においては、安芸高田神楽の東京公演を行っていることで、関東圏にも少しずつ神楽が広まってきていると思いますし、関東支部としても東京公演をさらに盛り上げるため、応援していくことを考えています。

関東には、多くの人材や情報が集まっています。さまざまな人と連携して、関東から安芸高田市にパワーを与えたいです。また、情報発信など、できることから一つずつやっていきたいと思っています。

ふるさと応援の会 会員募集！

安芸高田市を応援したい方なら、誰でも会員になれます。

【会員特典】

①「観光・特産品等の旬な情報」をお届けします！

②「広報あきたかた」を毎月お届けします！(市外の方対象)

③市内の文化施設や観光施設の割引優待券をお届けします！

【年会費】1,000円

安芸高田市 旬な情報発信隊募集！

ふるさと応援の会では、公式ホームページを12月に立ち上げます。

ホームページでは、ふるさと応援の会が主催するイベント情報などを掲載します。

また、公式フェイスブックでは、会員の皆さんで結成する「旬な情報発信隊」が、安芸高田市の旬な情報を掲載し、また、市内で起きた身近な出来事を伝える動画(地域のお祭りの様子、田んぼの稲の育ち具合などを伝える映像など)を作成し、公式YouTube(YouTube)チャンネルに投稿してもらっています。

安芸高田市をもっと盛り上げた
い方、「旬な情報発信隊」になりま
せんか？

詳しくは、産業振興部地域営農課
(☎0826・47・4021)まで
お問い合わせください。